

第 1 1 章 環境（薬事・環境衛生関係施設・水道・その他）

1 環境衛生関係

営業者の自主活動及び衛生水準の向上を図るため、衛生講習の開催、立入検査の実施等、環境衛生関係施設の衛生確保に努めた。

2 水道関係

管内の水道普及率は95.3%と、県下の94.9%と同等であり、全国の98.2%（令和5年度）より低い状況である。管内の水道施設は、上水道が9施設、簡易水道が2施設、専用水道が9施設となっており、各施設における管理状況、水道水質基準に基づく水質検査の実施状況等を把握するなど、適正な維持管理について監視指導を行った。

3 薬事関係

安全な医薬品の供給、毒物劇物による事故、危害防止のため、医薬品、毒物劇物販売者に対し、医薬品等の適正な取扱い及び保管貯蔵等について、監視指導に努めた。

4 献血関係

市町の協力のもとに、地域住民及び各事業所等に対し、献血思想の普及に努めるとともに、400ml献血及び成分献血を中心とする献血啓発活動を積極的に推進した。